


一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター（VEC）では『ベンチャー白書2015 ベンチャービジネスに関する年次報告2015年度版』を取りまとめ、2015年12月3日に刊行致しました。

第1章 ベンチャー投資動向（国内編）

1. 2014年度のベンチャー投資動向

2014年度概況

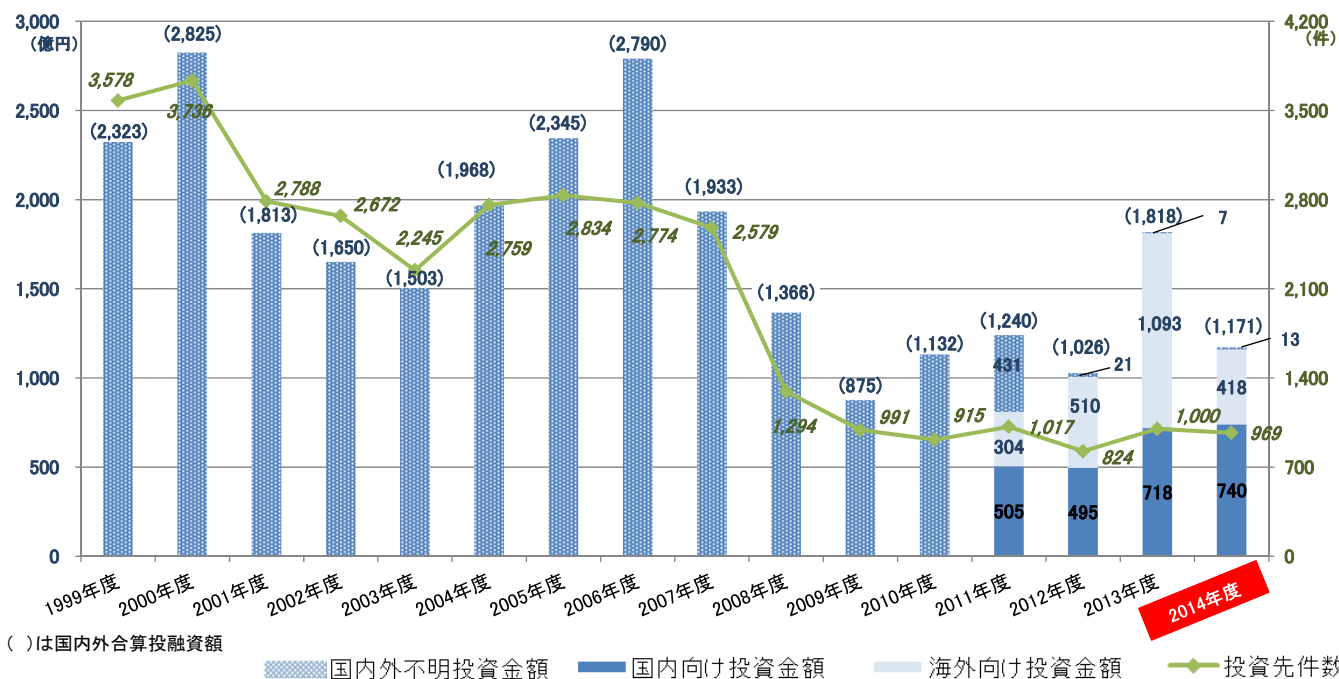
 白書I-1～2ページ

ベンチャーキャピタル（VC）等投資動向調査

国内のベンチャーキャピタル106社から回答
 ※調査協力依頼 180社、回答率58.9%

投資金額	1,171億円(対前年度増減率▲35.6%)
	「国内」 710億円→740億円 (対前年度増減率+3.1%) — 2012年度以降、増加中。 「海外」 1,093億円→418億円 (対前年度増減率▲61.8%) — 大幅減少。 海外向け投資を行っている一部大手VC 数社の投資金額増減が大きく影響。
投資先(のべ)件数	969件(対前年度増減率▲3.1%) 「国内」727件、「海外」205件

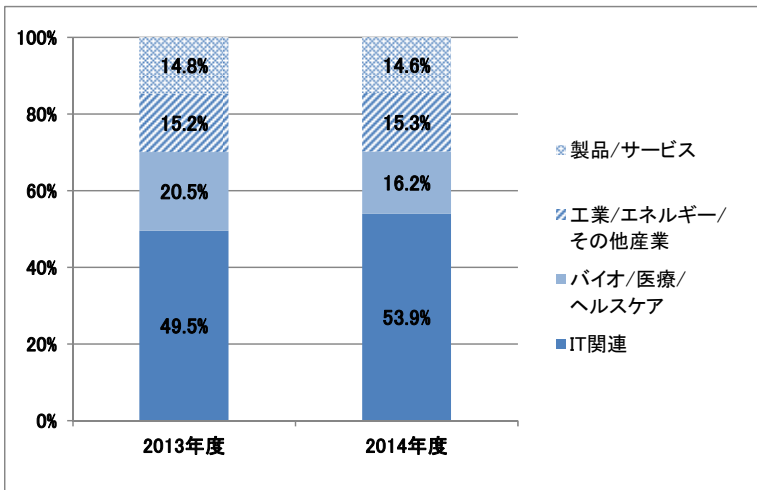
図表1-1-1 日本のベンチャーキャピタル（VC）等年間投資金額の推移



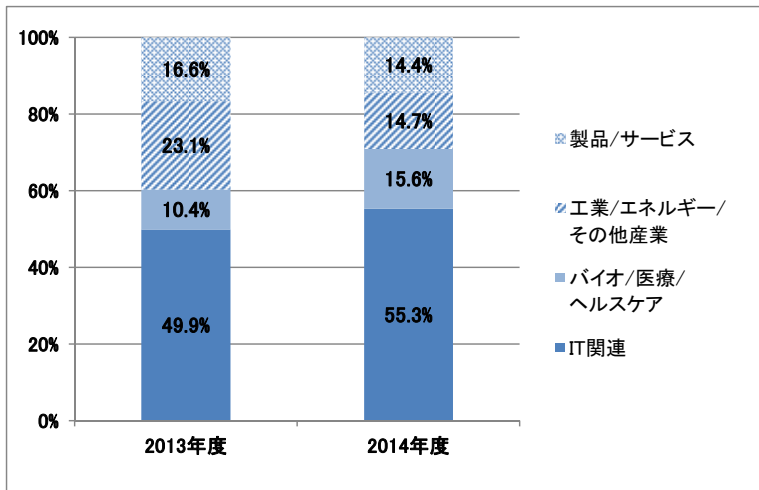
- 「IT関連」 金額・件数比率ともに 50%弱（2013年度）→50%強（2014年度）へ増加
- 「バイオ/医療/ヘルスケア」は金額では減少するも、件数では増加

投資先分布構成比・業種分布

図表1-1-5 金額ベース分布



図表1-1-6 件数ベース分布

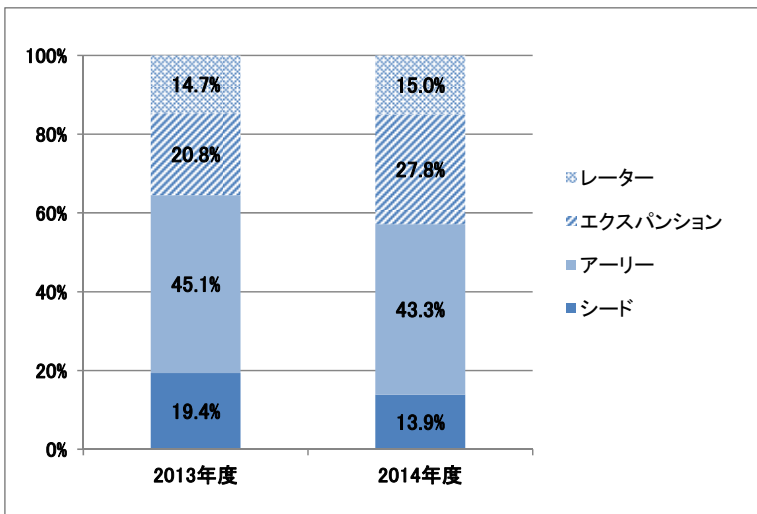


ステージ別動向

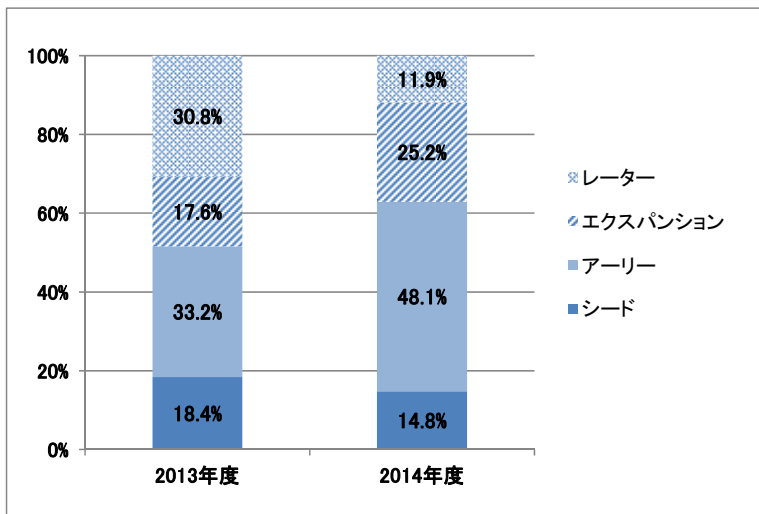
- 金額比率ではエクспанションの比率増加
- 件数比率ではアーリー/エクспанションの比率が増加し、レーターの比率は大幅低下

投資先分布構成比・ステージ分布

図表1-1-10 金額ベース分布

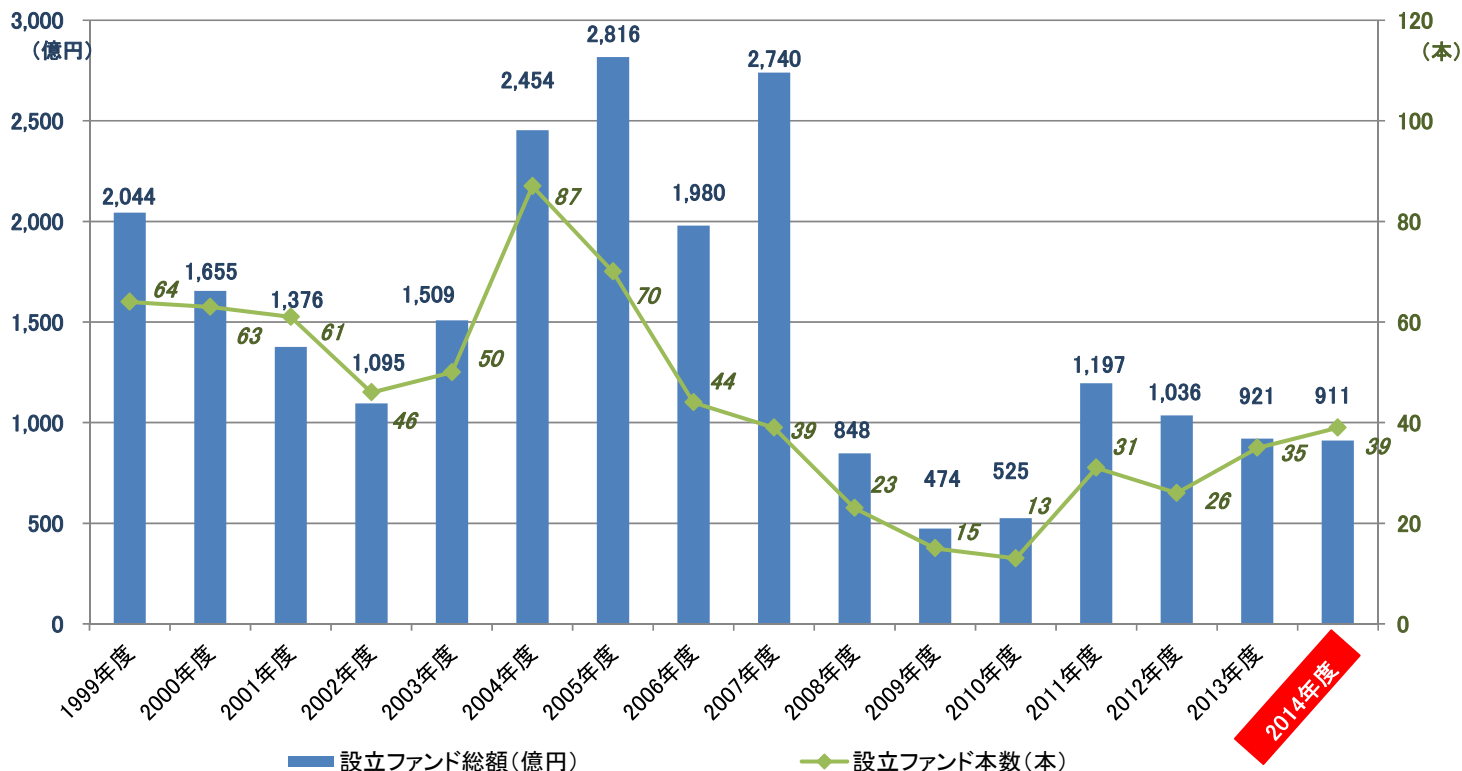


図表1-1-11 件数ベース分布



- 2014年度組成ファンド 本数：39本、金額：911億円
- 金額は2012-2014年度と減少するも、本数は2009-2010年度の低迷状況からは回復

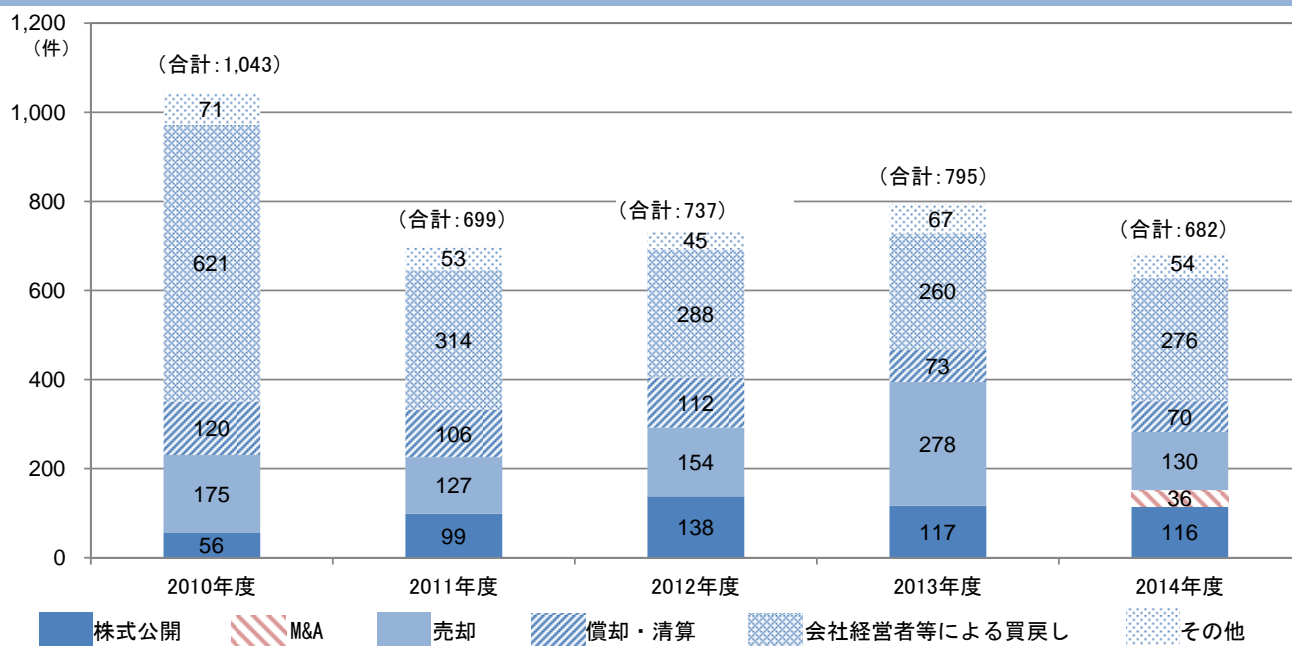
図表1-1-14 ファンド組成数および総額



投資回収 (Exit) の状況

- 2014年度より、M&Aの件数を調査項目に追加（2013年度までは「売却」に含め計上）
- M&Aと売却の件数は278件から166件（M&A：36件、売却：130件）へと大幅に減少
- VC側、VB側ともM&Aに対する抵抗感が薄れつつあることから、M&Aについては、今後も増加するとみる向きが多い

図表1-1-16 Exit件数の推移

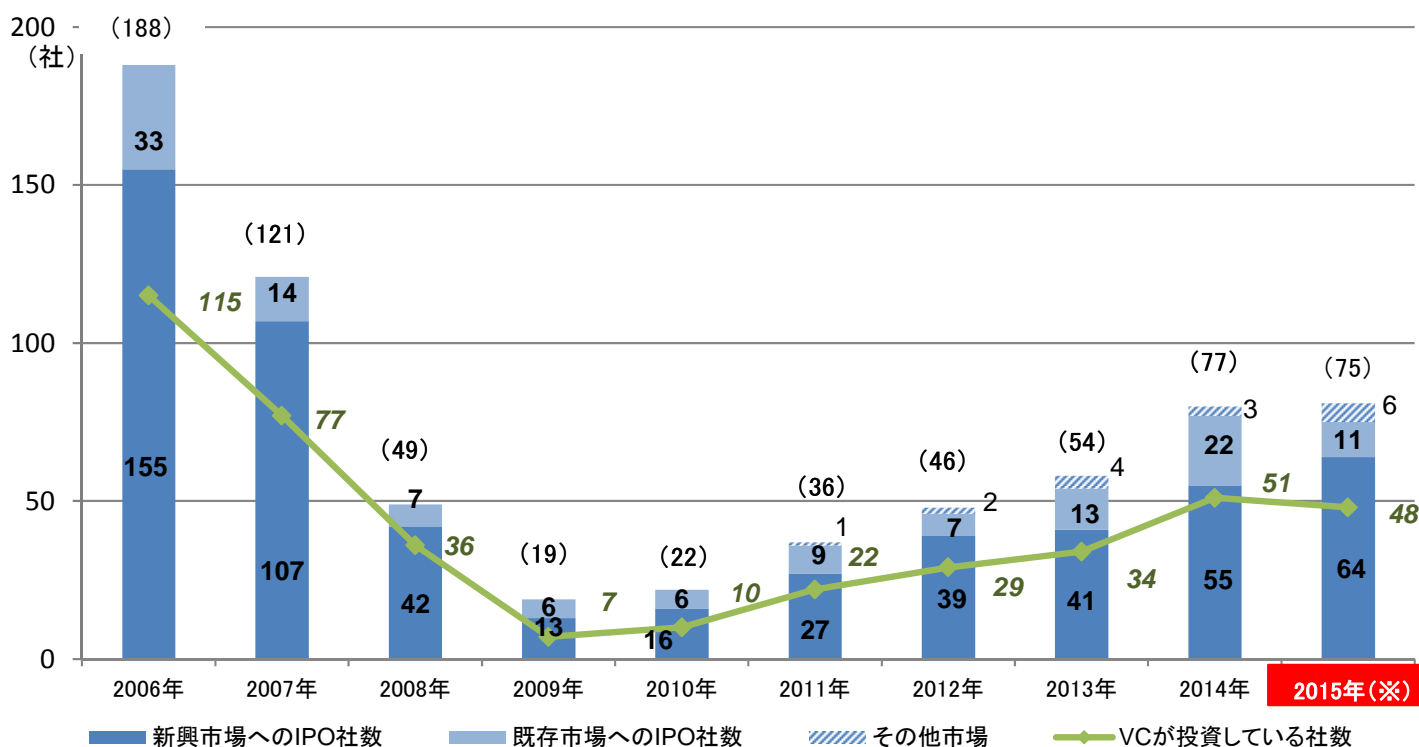


● 2015年のIPO社数

75社※

- 注※
- ・ 白書編集時点（2015年10月末時点）で判明していた12月末までの予定数を含む社数
 - ・ 本発表資料編集時点（2015年11月26日時点）で判明している2015年のIPO社数は、12月末までの予定数を含め93社

図表1-1-17 IPO社数の推移




・()の数値は新興市場と既存市場のIPO社数合計
 ・2011年の数値はセブン銀行を除く
 ・その他市場…TOKYO AIM取引所(2009年6月開設)、およびTOKYO PRO MARKET(2012年7月開設)
 ・VCが出資している件数は新興市場上場企業を対象

※2015年の数値は2015年10月末時点

2. 成長産業トピック

ロボット業界

 白書I-17ページ

**8,600億円
→9.7兆円**

日本のロボット産業の市場規模 (全分野の合計)
2012年8,600億円 (推定) …白書には記載なし
2035年9.7兆円 (予測)
経済産業省「2012年ロボット産業の市場動向調査」

50%

日本企業の産業用ロボット出荷額 (2011年)
世界シェアの50%
経済産業省試算

3要素

ロボットの3要素
センサー・頭脳 (コンピュータ) ・動作装置
→日本の強みを活かせる分野

ロボット産業の特徴 … 下記2氏のコラムより

- ①ハードとソフトの融合
- ②時間と多額の資金
- ③安全・品質面のリスク大

→参入ハードルが高いが…

「ニッチ・特定分野に絞り込む or ソフトに重点」

「大きなリスクを受容できる」

という点では、ベンチャー企業に向いている業界である。

ベンチャー白書2015では、実際にロボットベンチャーを手がけている2氏のコラムを掲載

コ・ロボット (協働型ロボット) という考え方

ライフロボティクス株式会社
代表取締役 CEO&CTO 尹祐根氏

ベンチャー企業が主導する宇宙開発

株式会社ispace
CEO 袴田武史氏
事業開発担当 中村貴裕氏

3. 政府、政府関連機関のベンチャー支援

政府のベンチャー支援の活発化



白書I-25~77ページ

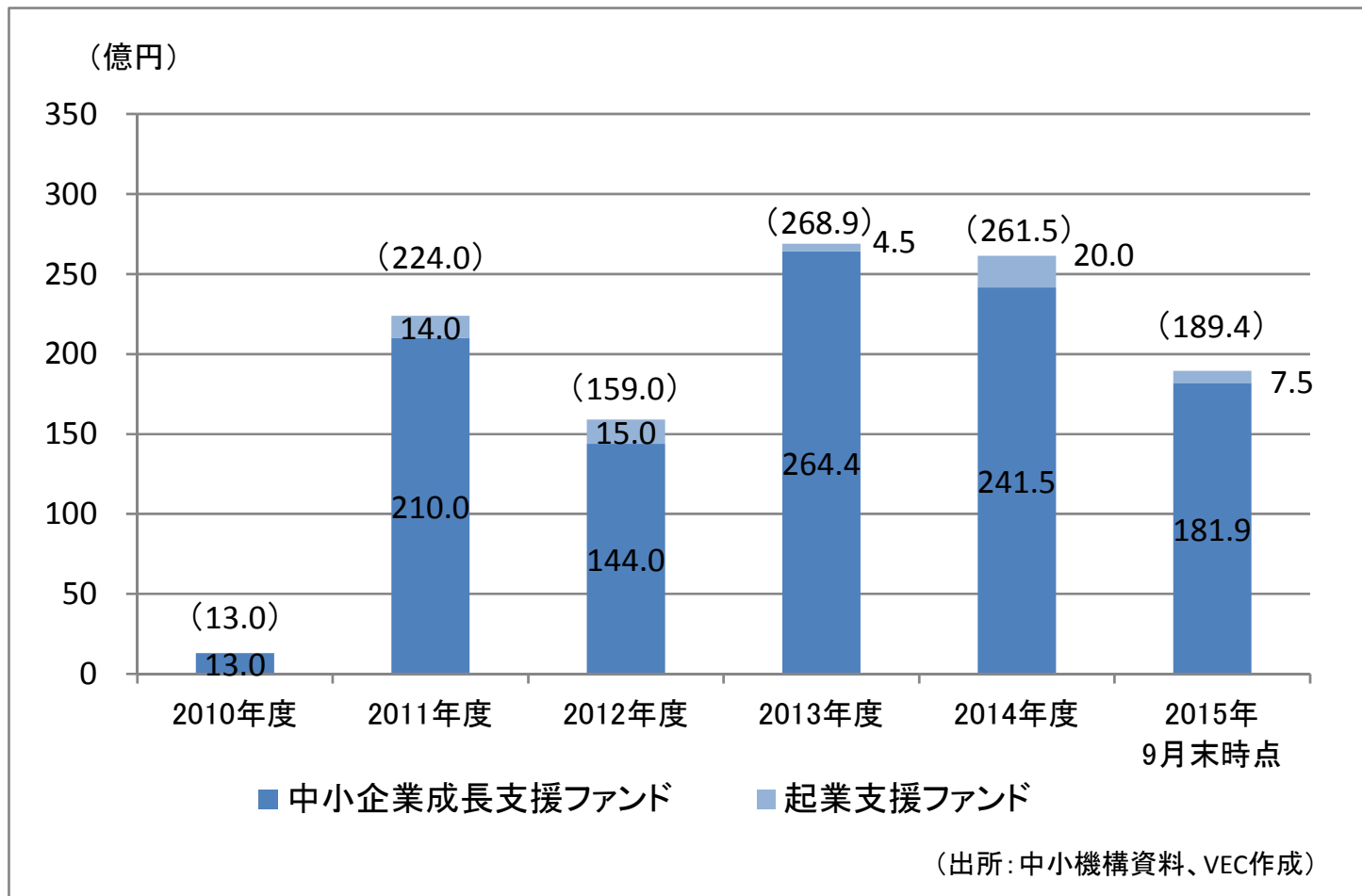
- 経済産業省は、日本再興戦略のベンチャー政策の提案などマクロ的支援策を展開
- 経済産業省の関連機関、その他の政府機関でベンチャー支援具体策の展開

運営元		実施内容
経済産業省 関連	経済産業政策局 新規産業室	ベンチャー有識者会議 産業競争力会議でのベンチャー政策の提案 ベンチャー創造協議会 ベンチャー・大企業連携イベント 先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業 グローバル起業家等育成プログラム エンジェル税制 企業のベンチャー投資促進税制 大学・大学院起業家教育推進ネットワーク 起業家教育普及促進事業
	中小企業庁	創業スクール 官公需法の一部改正
	独立行政法人 中小企業基盤整備機構	ベンチャーへの成長資金供給 Japan Venture Awards インキュベータ施設の提供 「ベンチャー投資ナビ」サイトの運営 創業支援・新事業支援施設「BusiNest」の運営 イベントスペース「TIP*S」の運営
	独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）	日本発知財活用ビジネス化支援事業 「ジェットロ・イノベーション・プログラム」 中小企業等外国出願支援事業
	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合 開発機構（NEDO）	イノベーション実用化ベンチャー支援事業 新エネルギーベンチャー技術革新事業 研究開発型ベンチャー支援事業 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業 革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型） 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業 オープンイノベーション協議会
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所（AIST）	スタートアップ開発戦略タスクフォース カーブアウト事業 ベンチャー技術移転促進措置 産総研の設備・特許等の現物出資
	独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）	未踏会議

2015年4月30日、安倍首相がシリコンバレーを訪問し、「シリコンバレーと日本の架け橋プロジェクト」を発表

企業の架け橋	ロボット、バイオ、医療等の中小・中堅企業・ベンチャー企業を派遣（5年で200社を派遣予定）
人材の架け橋	「グローバル起業家等育成プログラム」 大企業内の新事業担当者や起業家等を派遣（120名程度を国内研修、20名を2015年10月に派遣）
機会の架け橋	東京とシリコンバレー双方でビジネスマッチングイベントやシンポジウムを開催

運営元		実施内容
文部科学省 関連	科学技術・学術政策局	グローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGEプログラム）
	高等教育局	官民イノベーションプログラム
	国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）	大学発新産業創出プログラム（START） 出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS） 大学発ベンチャー表彰 イノベーションハブ構築支援事業
総務省 関連	情報通信国際戦略局 技術政策課	独創的な人向け特別枠「異能vation」プログラム ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）
	国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）	起業家甲子園 起業家万博
厚生労働省	職業安定局	求職活動中に創業準備・検討を行う者に対する雇用保険給付の取扱いの明確化
内閣府	地方創生推進室	国家戦略特区（起業・開業関連の取組）
農林水産省	新事業創出課	6次産業化・新産業創出促進事業（事業化可能性調査） 6次産業化ネットワーク活動交付金（新技術等の事業化実証）
政府系 金融機関	株式会社日本政策金融公庫	資本性ローン 高校生ビジネスプラン・グランプリ
	株式会社日本政策投資銀行	DBJ女性新ビジネスプランコンペティション
官民ファンド	株式会社産業革新機構	ベンチャーへの成長資金供給
	株式会社地域経済活性化支援機構	地域経済の活性化に資するベンチャー等への成長資金供給および経営支援
	株式会社海外需要開拓支援機構 （クールジャパン機構）	海外需要開拓に関するベンチャー等への成長資金供給



産業革新機構の2014年度ベンチャー投資一覧

日付 (公表日)	投資先企業名	投資額(億円) (注1)	国内外別	業種	ステージ	種別
2014/4/24	衆智達	15.0	海外	工業	エクспанション	追加投資
2014/5/16	カスタマー・コミュニケーションズ株式会社	4.0	国内	ITサービス	アーリー	新規投資
2014/5/19	Sansan株式会社	7.5	国内	ITサービス	アーリー	新規投資
2014/5/22	株式会社クリエイトワクチン	2.8	国内	製薬	シード	新規投資
2014/6/2	マイクロ波化学株式会社	8.0	国内	工業	アーリー	新規投資
2014/7/8	Cloudian Holdings Inc. (注2)	15.6	海外	ソフトウェア	エクспанション	新規投資
2014/7/14	QUADRAC株式会社	7.0	国内	ITサービス	アーリー	新規投資
2014/7/25	株式会社NejiLaw	7.0	国内	工業製品	アーリー	新規投資
2014/8/4	オーマイグラス株式会社	9.0	国内	ITサービス	エクспанション	新規投資
2014/8/7	アグラ株式会社	6.0	国内	ITサービス	エクспанション	新規投資
2014/9/3	WHILL Inc. (注2)	9.4	海外	その他産業	アーリー	新規投資
2014/9/8	株式会社K-engine	20.0	国内	ITサービス	アーリー	新規投資
2014/9/22	SCIVAX株式会社	6.6	国内	工業	アーリー	新規投資
2014/10/7	BIC株式会社	10.0	国内	通信・ネットワーク	シード	新規投資
2015/2/9	クオンタムバイオシステムズ株式会社	33.0	国内	バイオ	シード	新規投資
2015/3/9	スペクトロニクス株式会社	5.0	国内	工業	アーリー	新規投資
2015/3/16	株式会社GRAアグリプラットフォーム	5.2	国内	ITサービス	アーリー	新規投資
2015/3/23	株式会社メガカリオン	20.0	国内	バイオ	エクспанション	追加投資
2015/3/31	Miselu Inc. (注3)	3.6	海外	ITサービス	エクспанション	追加投資
合計		194.7				

(注1) 公開資料に基づく投資額(金額非開示の投資案件は除く)

(注2) 1\$=103.9円で計算(2014-3Q平均為替レート)

(注3) 1\$=119.2円で計算(2015-1Q平均為替レート)

産業革新機構の2014年度LP投資一覧

日付 (公表日)	投資先企業名	投資額(億円) (注)	国内外別
2015/1/5	インキュベイトファンド3号投資事業有限責任組合	50.0	国内
2015/2/23	けいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC投資事業有限責任組合	25.0	国内
合計		75.0	

(注) 公開資料に基づく投資額(金額非開示の投資案件は除く)

産業革新機構の2015年度ベンチャー投資一覧(2015年9月末現在)

日付 (公表日)	投資先企業名	投資額(億円) (注)	国内外別	業種	ステージ	種別
2015/6/17	株式会社フローディア	6.0	国内	半導体	アーリー	新規投資
2015/7/23	ナノミストテクノロジーズ株式会社	5.0	国内	工業	レーター	新規投資
2015/7/27	スマートインサイト株式会社	5.0	国内	ソフトウェア	エクспанション	追加投資
2015/8/3	株式会社イノフィス	6.5	国内	工業	アーリー	新規投資
2015/8/5	株式会社スマートドライブ	6.6	国内	ITサービス	アーリー	新規投資
2015/8/6	レナセラピューティクス株式会社	6.0	国内	製薬	シード	新規投資
2015/9/11	株式会社アクアセラピューティクス	5.0	国内	製薬	アーリー	追加投資
合計		40.1				

(注) 公開資料に基づく投資額(金額非開示の投資案件は除く)


産業革新機構の2015年度LP投資一覧

日付 (公表日)	投資先企業名	投資額(億円) (注)	国内外別
2015/4/14	EEIスマートエナジー投資事業有限責任組合	50.0	国内
合計		50.0	

(注) 公開資料に基づく投資額(金額非開示の投資案件は除く)

4. 民間部門のベンチャー支援

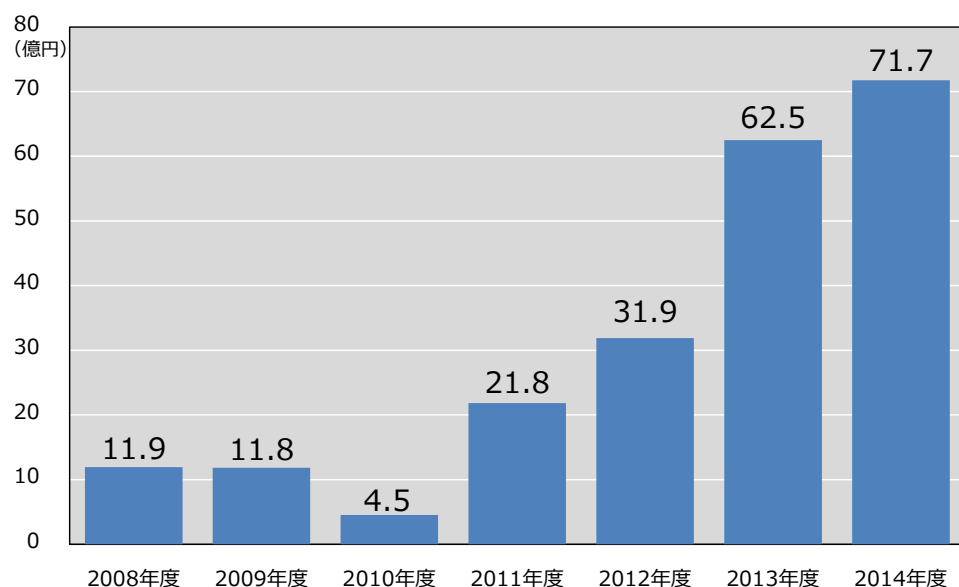
コーポレートベンチャーキャピタル (CVC)

 白書I-83~88ページ

CVC増加の背景：日本の大企業発イノベーションが生まれづらい状況に（＝「自前主義」の限界）

- オープンイノベーションへの取り組みが活発化
- 協業先の一つとしてVBにも目を向け始めた（新規分野、スピード）
- オープンイノベーションの一手段ともいえる「CVC」への取り組みが活発化

図表1-4-(1)-1 民間の非金融事業法人のCVC子会社によるVB投資金額の推移（国内外合算）



(注) 本調査は、すべてのCVCによる投資をカバーしているわけではない

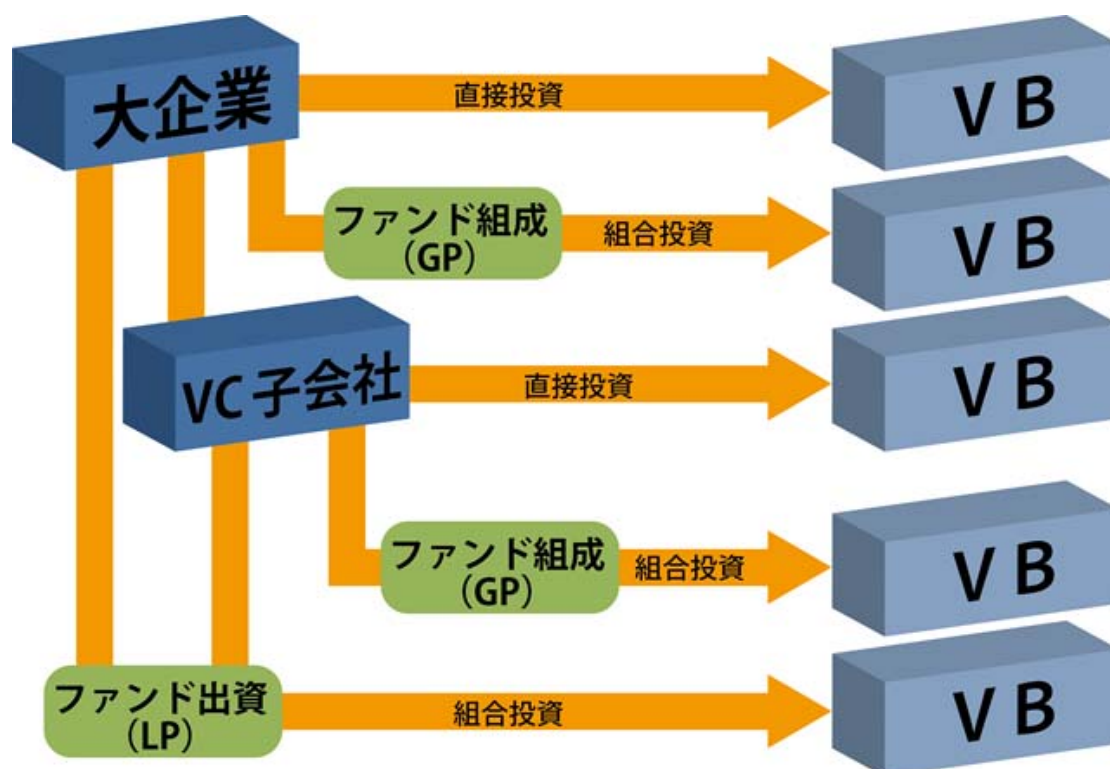
成功のポイント

「トップの明確なコミット」
「フィナンシャルリターン」へのこだわり

課題

1. CVC活動へのトップのコミットメント
2. 大企業内でのキーパーソンの発見とコンタクト
3. オペレーションスピードとガバナンスのバランス
4. 大企業がVBと協業する際の管理コスト
5. 人材育成と人脈の構築

図表1-4-(1)-2 CVCの形態



FinTech : 金融を意味する「Finance (ファイナンス)」と
技術を意味する「Technology (テクノロジー)」を組み合わせた造語

FinTech関連ベンチャー

●メガバンクがFinTech関連ベンチャー支援に本腰を入れ始めた

- ① ピッチコンテストやプレゼンテーションイベントの開催
- ② FinTech関連ベンチャーとの業務提携…オープンイノベーションの推進

FinTech関連以外のベンチャー

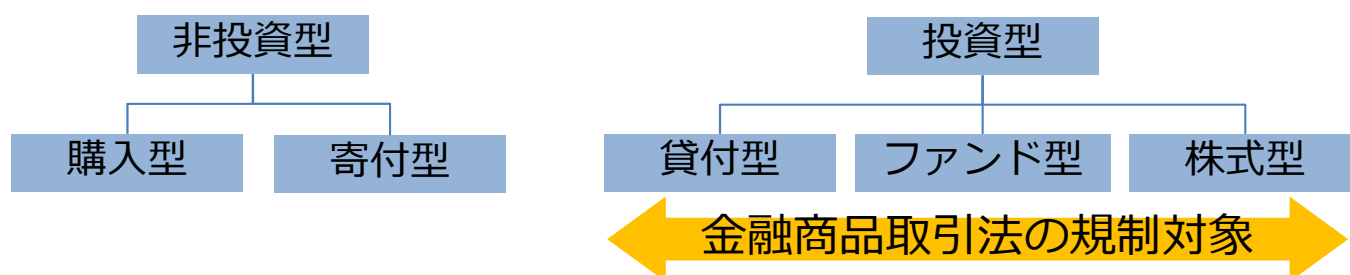
●メガバンクを中心に、積極的に支援する動きあり

- ① 公的金融機関・技術研究機関との業務提携
- ② ピッチコンテスト等の開催、販路拡大等を狙いとした取引先紹介
- ③ ベンチャー企業専担審査部門の設置、ベンチャー支援部隊内にベンチャーキャピタリストの機能を持つ人材を配置

●大企業の「新規事業開発セクション」からメガバンクに対し、ベンチャー企業に関する問い合わせ・紹介依頼増加

クラウドファンディング

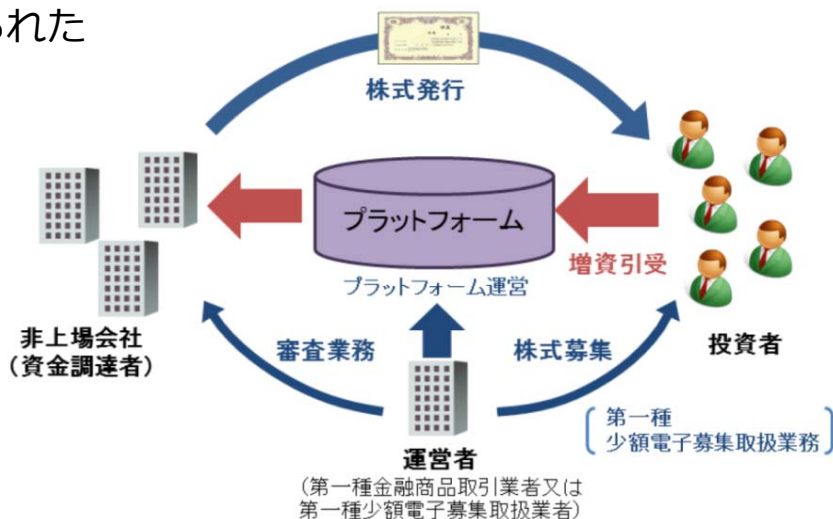
クラウドファンディング・プラットフォームの分類



注目点 「株式型」クラウドファンディングの新設


2015年5月施行の改正金商法で「第一種少額電子募集取扱業者」新設。
この業者と証券会社に対して、インターネットによる少額募集取扱*に限り、非
上場株式等**の投資勧誘が認められた

- * 「少額」…発行会社1社に対して
年間1億円未満、投資者一人当たり
50万円以下の投資を指す
- ** 「非上場株式等」…株式（種類株を
含む）と新株予約権に限られ、
社債（新株予約権付社債を含む）
は対象外



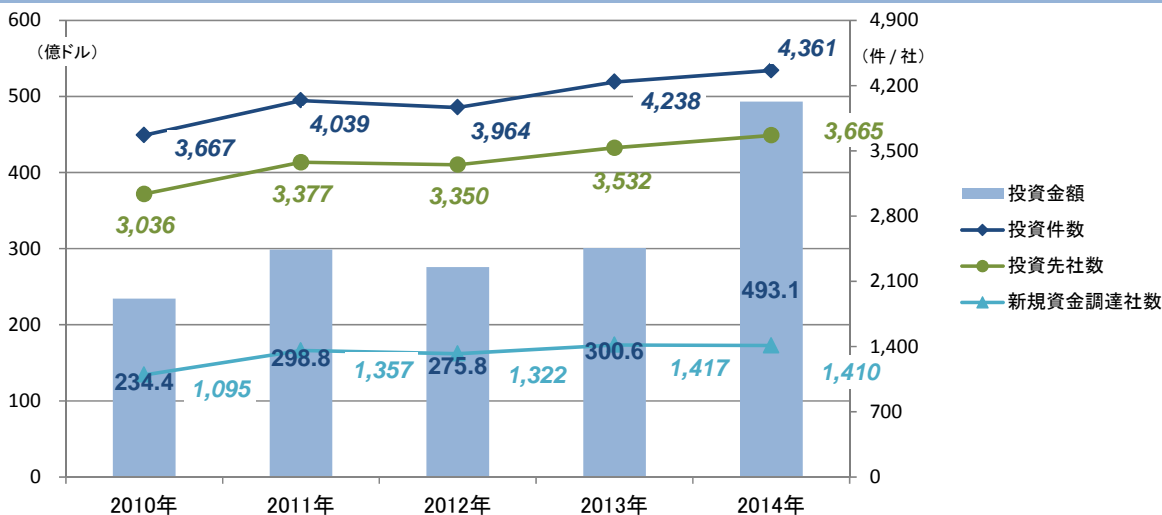
1. 米国のVC投資の概況（NVCA『YEARBOOK2015』のデータより）

2014年の投資状況


 白書I-113~117ページ

- 2014年 投資金額 493.1億ドル（2000年以降の最高額） 新規資金調達社数 1,410社

図表2-1-4 VC投資金額および投資件数の推移

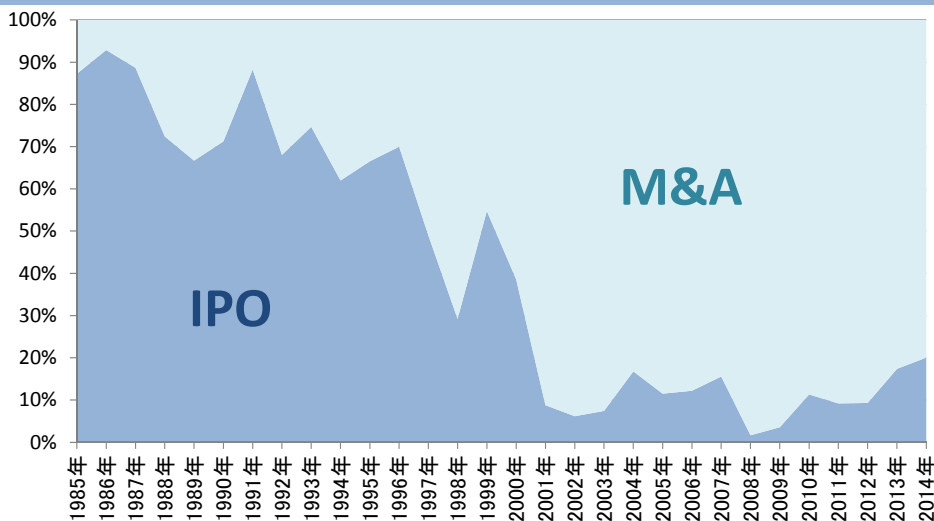


2014年のExit状況

 白書I-118~121ページ

- 2014年もM&Aが約80%を占める

図表2-1-16 VC支援企業のExitにおけるIPOとM&Aの社数割合の推移




直近のIPOおよびM&Aの件数・比率

	2013年	2014年
IPO (件数)	81	115
M&A (件数)	385	459
合計	466	574

	2013年	2014年
IPO (比率)	17%	20%
M&A (比率)	83%	80%

シリコンバレー通信

 白書I-124~145ページ

ベンチャーの最前線、シリコンバレーの直近の情報を伝えるコラム 全5本を収録

- NSFのイノベーション部隊（I-124ページ）
- イノベーションの起爆剤としてのSBIR ～米国の国家的シードファンド～（I-127ページ）
- 米国における政府のベンチャー関連の施策および取り組み（I-131ページ）
- スタートアップ支援組織としてのアクセラレーターの位置付けと評価指標（I-137ページ）
- 日米大学の知財戦略と大学発イノベーション（I-145ページ）

2. 欧州のVC投資の概況

(EVCA 『2014 Pan-European Private Equity Activity』のデータより)

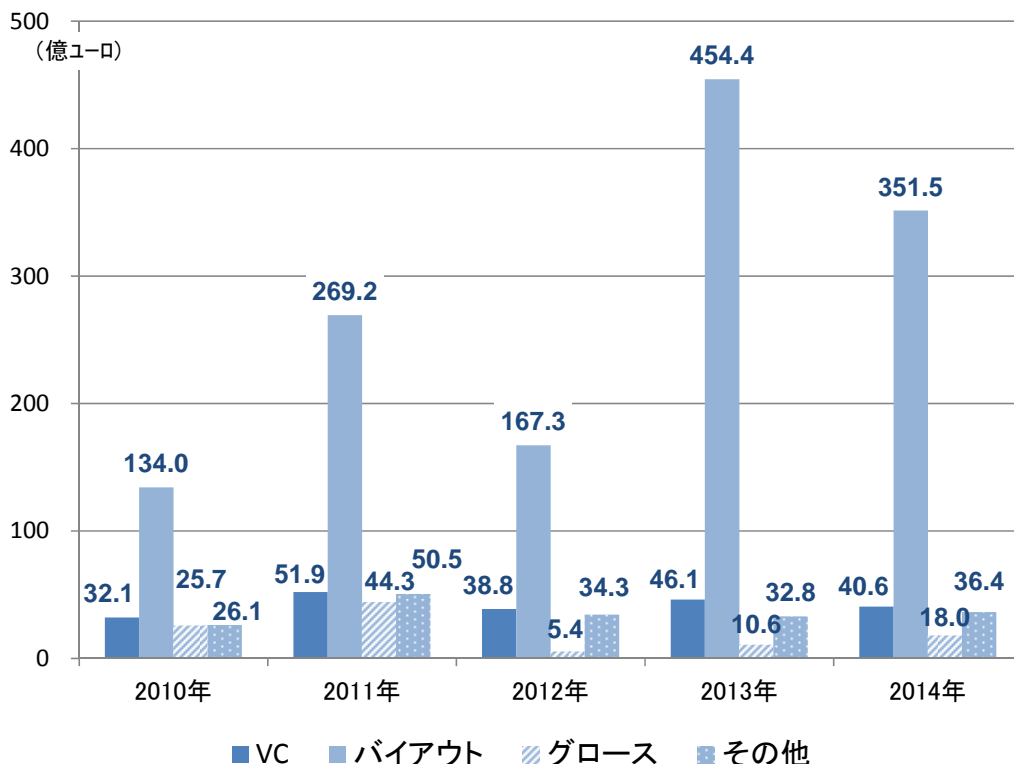
欧州内ファンドによる2014年の資金調達状況



白書I-149~151ページ

- 欧州における投資形態別の投資額の推移 - バイアウトが主流

図表2-2-1 投資形態別のファンド資金調達額の推移



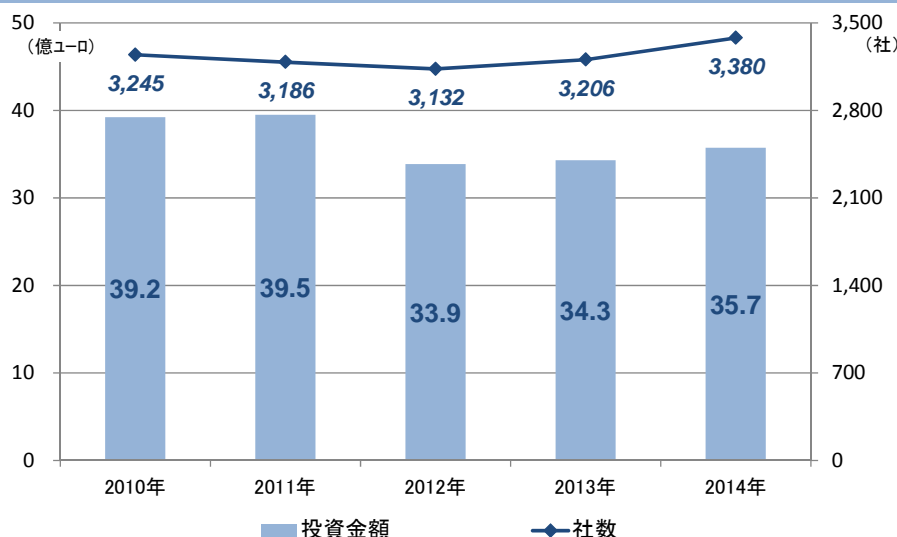
2014年のVC投資状況




白書I-152~155ページ

- 2014年のVC投資金額 35.7億ユーロ 投資先社数 3,380社

図表2-2-5 VC投資金額および投資件数の推移




海外展開の状況

 白書I-171ページ

- 既に海外展開（販売・調達）している企業は全体の25%（うち海外拠点あり9%）「海外展開している割合」は、vc出資の有無でほとんど差はないが、「海外拠点の有無」では、「vc出資あり」14%に対し、「vc出資なし」7%と顕著な差
- 海外展開先では、アジア全体（中国、東南アジア、その他アジア）で47%を占め、なかでも東南アジアの割合が最も多い

資金調達状況（直近1年間）

 白書I-174ページ

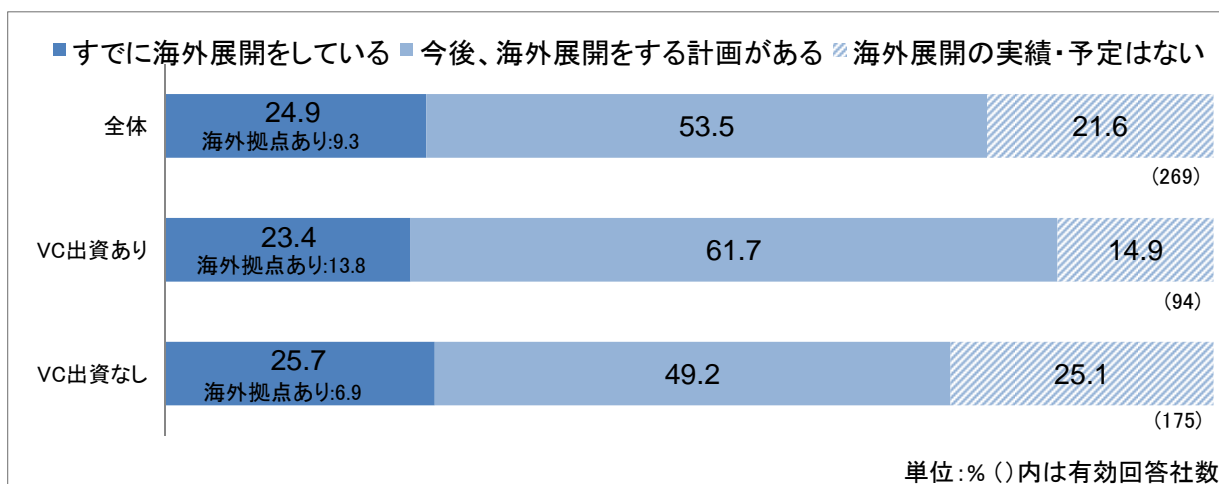
- 全体では、「本人・親戚・知人」の割合がもっとも多く、次に「銀行・信用金庫・信用組合」
- 金額比率で見ると、全体では、「vc」の割合がもっとも多く、次に「民間企業」が続いている

経営ニーズ

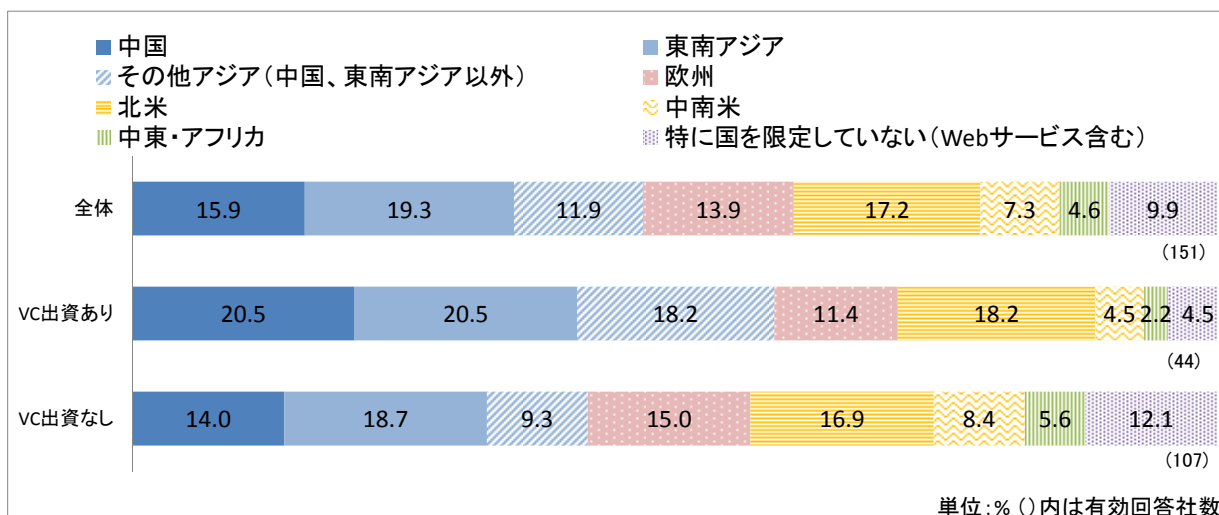
 白書I-176~177ページ

- ①人材確保、②販路拡大、③資金調達、④技術開発の順
- vc出資の有無で比較すると、「vc出資あり」の企業の方が、各項目において高いニーズを示しているが、唯一「販路拡大」に関しては「出資なし」の企業のニーズの方が高い

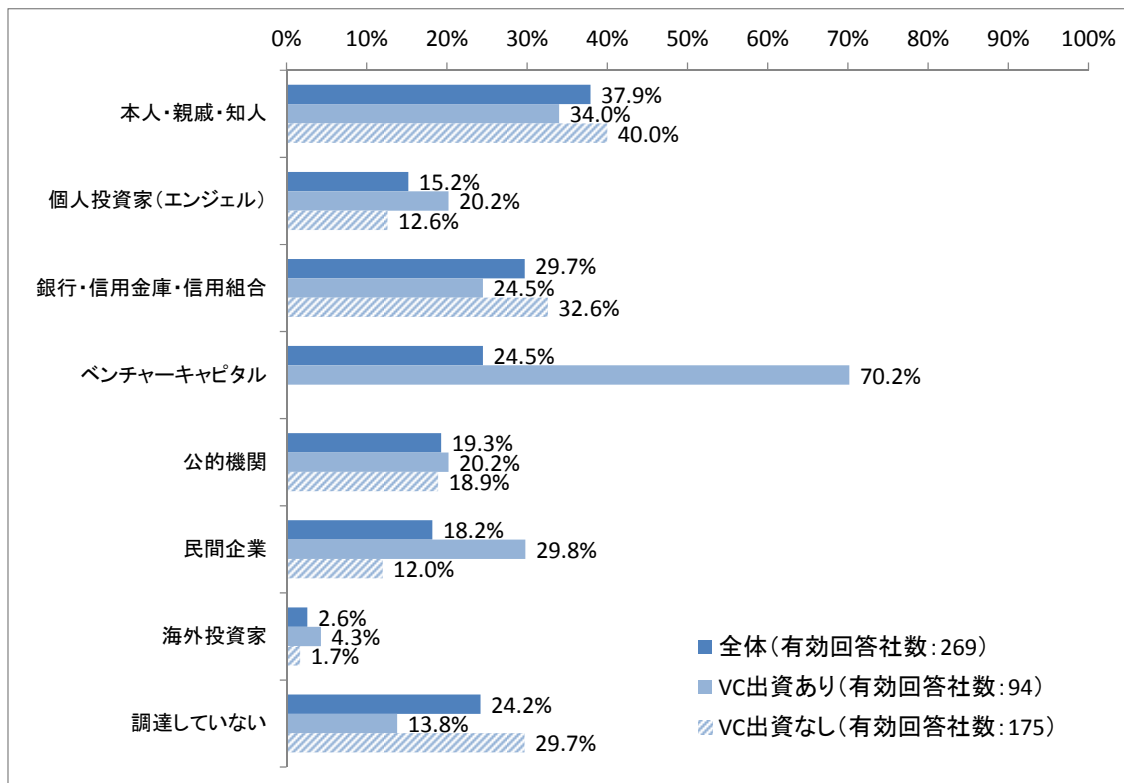
図表3-2-1 海外展開の状況



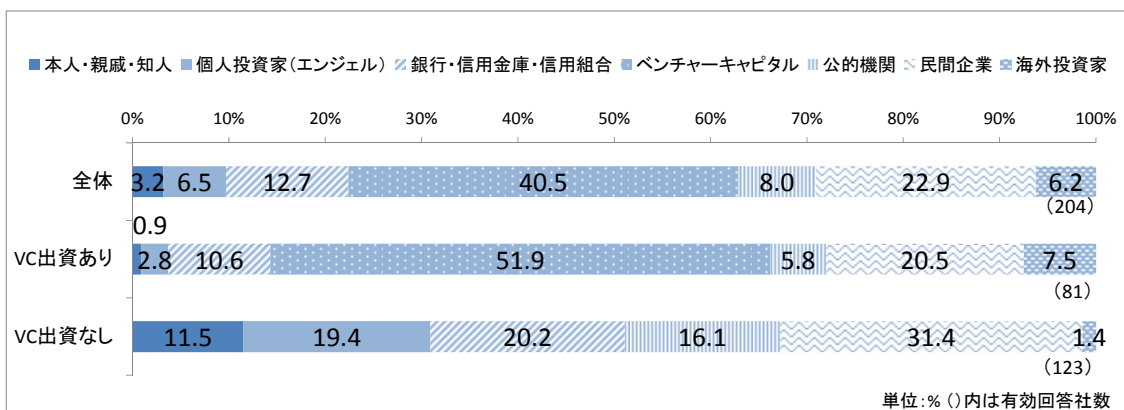
図表3-2-2 海外展開している国と地域



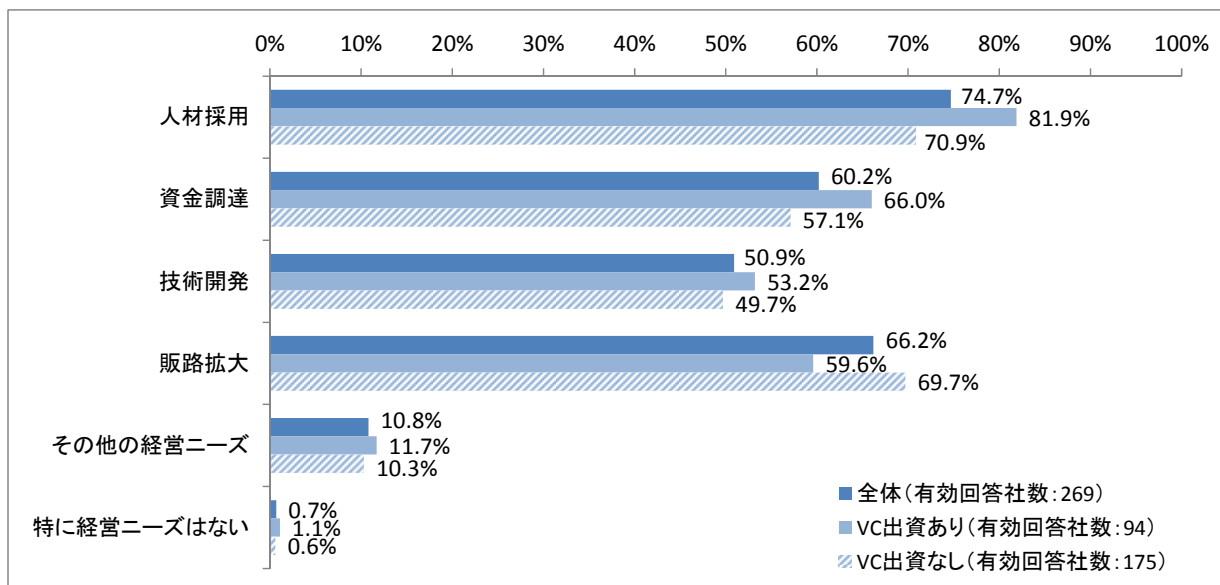
図表3-3-3 直近1年間の資金調達元の件数比率（複数回答可）



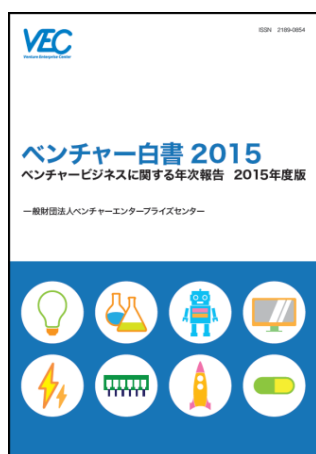
図表3-3-4 直近1年間の資金調達元の金額比率（複数回答可）



図表3-4-1 経営ニーズ（複数回答可）



タイトル	白書ページ
独立系ベンチャーキャピタルが主役に	I-15
バリュエーション高騰は一服、今後は選別進む	I-16
ベンチャー企業とロボット開発 ～コ・ロボット（協働型ロボット）という考え方～	I-17
ベンチャー企業が主導する宇宙開発 ～ロボットを活用して人間が宇宙で生活することを実現～	I-21
起業家育成 ベンチャーキャピタル、大学生や高校生にも照準	I-78
キャピタリスト、キャピタリストを育てる 育成の場広がる	I-79
種類株の条件に変化	I-80
加速する大企業とベンチャーのマッチング	I-89
メガバンク、ベンチャー支援でFinTech取り込み	I-92
「クラウドファンディング」 ～広がるベンチャー企業の新たな資金調達手法～	I-93
クラウドファンディング、ものづくりベンチャー支える株式型にも期待	I-110
NSFのイノベーション部隊	I-124
イノベーションの起爆剤としてのSBIR ～米国の国家的シードファンド～	I-127
米国における政府のベンチャー関連の施策および取り組み	I-131
スタートアップ支援組織としてのアクセラレーターの位置付けと評価指標	I-137
日米大学の知財戦略と大学発イノベーション	I-145
フランスの憂鬱	I-158
イスラエルから学ぶ	I-161
ドイツの復権（前篇）	I-163
ドイツの復権（後編）	I-164
海外市場に挑まずとも、国際化には意味がある	I-179



ベンチャー白書2015 書誌情報

2015年12月3日刊行

ISBN978-4-9907562-8-4

A4約300頁 本体5,000円+税

取扱店：

紀伊國屋書店、丸善をはじめとする全国の書店

Amazon.co.jp、楽天ブックス等のネット書店

ベンチャー白書



問合せ先

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

業務部

浅野・越山・千葉

03-5330-9307

vcdoukou@vec.or.jp

<http://www.vec.or.jp/>